

在情  
之  
一  
下

號7452第受密

別紙通り遼東守備軍司令官一訓令相成候  
及通報候也

外務大臣男爵小村壽太郎殿

參謀總長 侯爵山縣有朋



久

明治三十七年九月十五日

大本  
管陸 參通第八九五號第一

日探報...

陸軍省

出



MT.

52231

02

號3642第受密

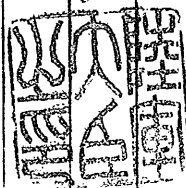
勅諭第五七號

編成命令

遼東守備軍司令部並臨時電信隊ノ編成ヲ令セラル  
右通報ス

明治三十七年九月七日午前十時

陸軍大臣 寺内正毅



外務大臣男爵小村壽太郎殿

陸軍省

MT.

52231

01

秘

大本  
陸軍  
參訓第一三八號第一

訓令

一、遼東守備軍司令官ノ管轄區域ハ牛莊附近ヨリ海城、柞木城及九溝峪ヲ經テ龍王廟附近大孤山ノ東北方ニ亘ル線約五里ニ在ルモノ以南ノ地方ニシテ別紙略圖ノ通りトス但シ第三軍關東半島ニ作戰スル間ハ同軍ヲシテ其管區ヲ保有セシム

二、遼東守備軍司令官ハ露國租借地(金州ヲ含ム)ノ地方行政ハ海牙條約ニ

MT.

52231

03

附属スル陸戰ノ法規慣例ニ關スル規則第三款ノ諸條ニ準據スヘシ

三、前項以外ノ管轄區域ニ於テハ遼東守備軍司令官ハ軍政委負ヲ指揮シ前項ニ準シ軍事上必要ナル各般ノ施政ヲ為スヘシ但シ民政ハ軍事上妨ナキ範圍ニ於テ清國地方官吏ヲシテ之ヲ掌ラシムヘシ

四、遼東守備軍司令官ハ必要ニ應シ開港地(營口)ノ行政事項ニ關シテハ其

MT.

52231

04

地駐在ノ帝國領事ニ沿海ノ警備ニ  
關シテハ管轄區域内若ハ近傍ニ在ル  
海軍官憲ニ交渉シ適宜處辨スヘ  
シ

五、遼東守備軍司令官ハ統率外ノ部  
隊ニシテ管轄區域内ニ一時屯在若ハ之  
ヲ通過スルモノニ對シテモ軍紀及風紀  
上ノ監督ヲ為スコトヲ得

六、遼東守備軍司令官ハ管轄區域ノ  
行政ニ關スル規則ヲ定メタルトキハ之ヲ

大本營ニ報告スヘシ

明治三十七年九月十五日

參謀總長侯爵山縣有朋奉

遼東守備軍司令官宛

MT.

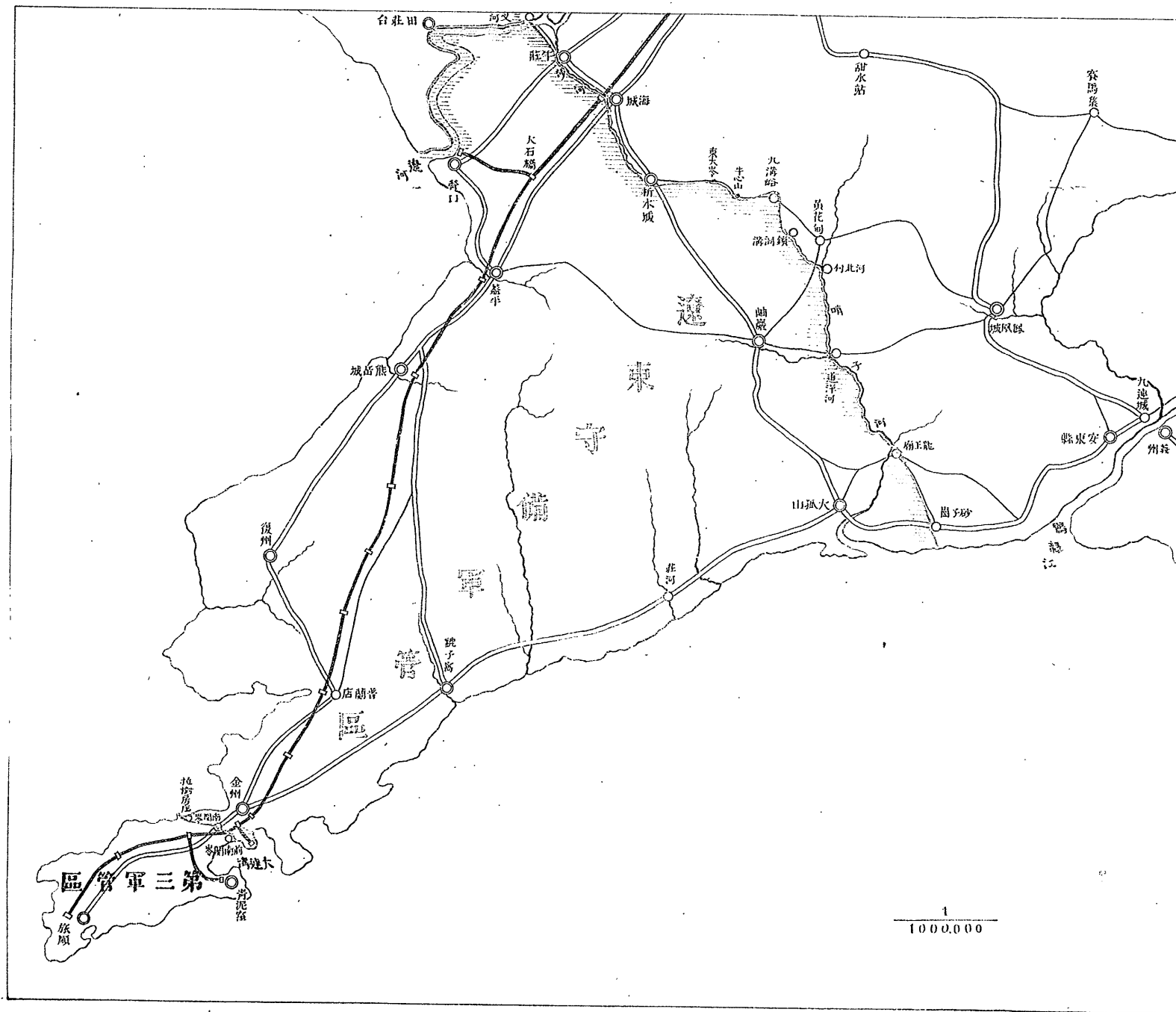
52231

06

MT.

52231

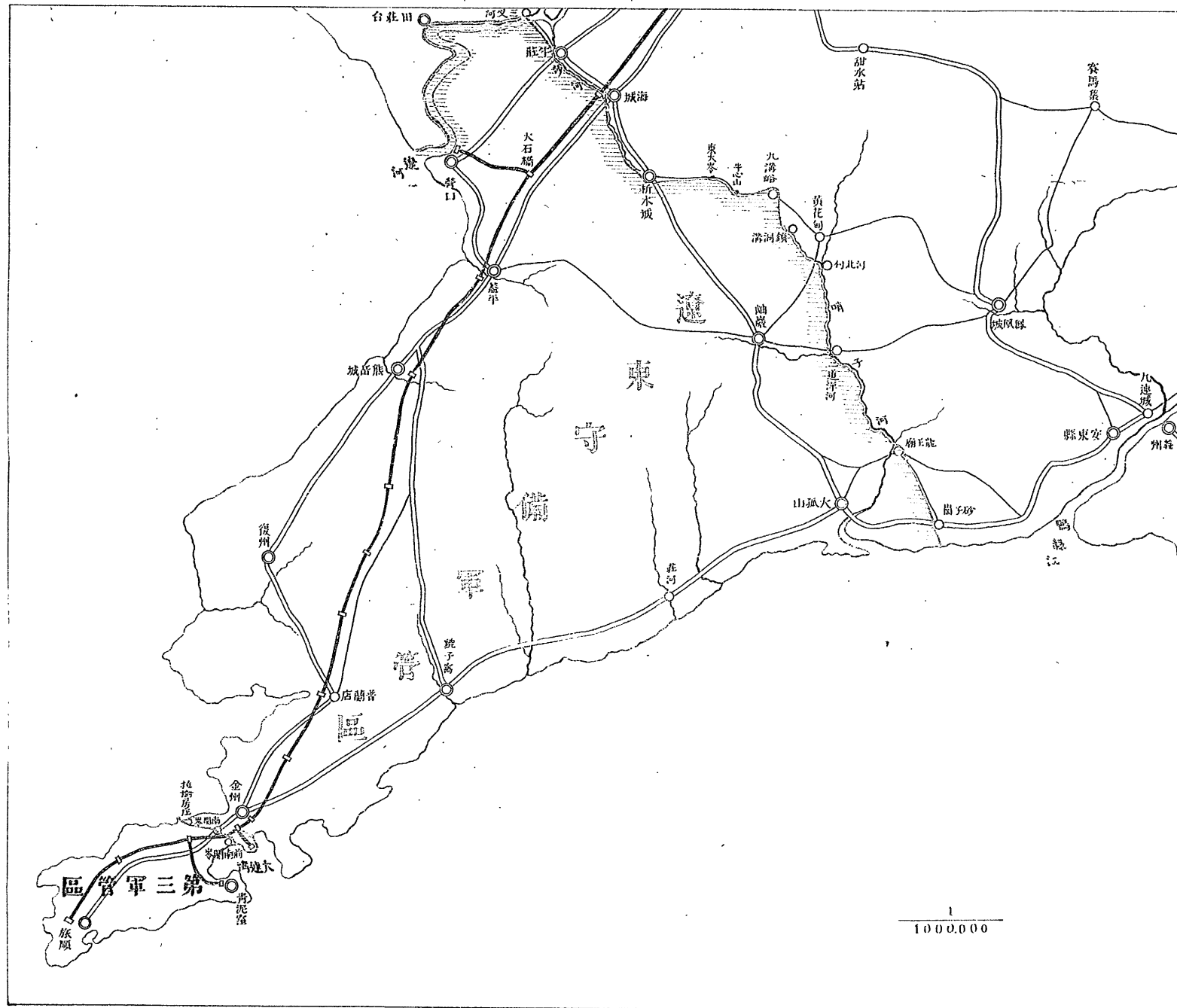
05



5-0311

MT. 52231 07

0490



MT 52231 07

5-0311

0491

3

急

機密

明  
治  
三  
十  
七  
年  
九  
月  
廿  
七  
日

明  
治  
三  
十  
七  
年  
九  
月  
廿  
七  
日

政務局長

生

主任

明治三十七年九月二十七日發

三十七年九月二十六日發

在  
莫宋俄傳摺印  
序

天津、上海、牛莊、營口、各領事

大五

遼東守備軍司令部付

外務省

滿洲に於ては我軍隊は是迄能  
く守備軍司令部に於て指揮下  
に在りしが、~~最近~~ 最近に於ては  
權大に付て守備ト作戦トシ  
區別スルハ必要あり、右之を以て遼東  
守備軍司令部に於て之を以て  
守備軍司令部に於て之を以て  
ル下ト表西遼軍大將遼東

MT

52231

09

MT

52231

08

5-0311

0492

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

宇備軍司官友ニ出陣セシ  
 同司官友ニ討伐セシ此最老謀臣也  
 勇別命書ノ通初信友ノ向  
 長沙急戦ニ寄此段中進升  
 敬具也  
 自前奉命守備以來今日今月  
 及其他各人更任事多難  
 初信一書  
 外務省  
 美 機密送第 2/4 號  
 来 機密送第 1/5 號  
 福 機密送第 2/5 號  
 仏 機密送第 2/5 號  
 伊 機密送第 9/5 號  
 清 機密送第 5/5 號  
 韓 機密送第 7/4 號  
 上 機密送第 2/5 號  
 牛 機密送第 6/7 號  
 機密送第 5 號

明治三十七年九月二十七日

以之抄紙館

MT

52231

11

MT

52231

10

占領地

4

騰寫濟

明治 年 月 日 起草  
同 年 月 日 發遣

三十七年十月廿八日 西司書付

心

終

生

滿洲占領地施取付

外務省

我軍ノ占領ニ歸スル滿洲ノ  
地方ニ關シテ我ニ於テ國際法上  
軍事占領ニ付テ所ノ一切ノ權  
利ヲ行使スルヲ得ルニ言ヲ俟タズ  
又<sup>此際</sup>我國カ從來該地方ニ於テ  
施行シ来リタル所ノ越<sup>越</sup>シテ過大  
ノ格カヲ行フニ得兼ニテ又從テ  
滿洲占領地ノ施取ニ關シテ西國

MT

52231

13

MT

52231

12

5-0311

0494



ノ行ヒタル處ヲ越セサルニ範圍  
内ニ於テ我権力ヲ行使スルヲ以  
テ其大方針トナスヲ必要トス向テ  
滿洲ノ地亦其性質上露國  
租借地・滿洲南港場及清國內  
地ノ別アルヲ以テ其施政ハ亦自ラ  
此區別ニ從ヒ其趣ヲ已大ニスルヲ  
必要トス

外務省

亦一露國租借地

遼東半島山南部ニ於テ露國租  
借地ニ從來露國ノ者著ク屬シ  
露路ハニ於テ之ニ關スル立法行及司  
法ノ權ヲ行使スル所ナリ金州・旅  
大租借地ノ續キニ依リ露國ノ  
自治ヲ許スル地ニナリ露國  
現ニ此地ニ於テ自ラ其施政ヲ為シ

MT.

52231

15

MT.

52231

14

清國地方、輸權ヲ認ナカリシ  
ヲ以テ金貨を以テ他ノ露國租借地  
ト向視スルヲ得べシ

露國租借地(奉天省)ニ在リテ

其從來多知(露國)治下ニ在リタル  
ノ事實ト比陸ニ在リ候地域ノ内  
我權利ノ基礎ヲ樹立シ置クノ  
必要あり鑑ニ我ニ在リ一切其施政ヲ

外務省

為スルトヲ必要トス尤モ我が此地域ニ  
對スル權利(ソノ)單ニ台候ノ事實  
ニ在リシヨリ伊昔條約上ノ根據あり  
ニアリカ故ニ若シ此地域内ニ在リ候  
國人ノ犯罪者見トキハ當分、向ソ之ヲ  
所屬國事ニ送付スルヲナカシムル  
コトヲ必要トス

亦ニ清國前港傍

MT

52231

17

MT

52231

16

5-0311

0496

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

滿洲に於ける清國南港揚子江口  
安東縣大東嶺及奉天村、四者  
ナリトス

營口に現に清國ノ貿易ノ港ニシテ  
内地に著る其地位ヲ果ニモナリ  
該地に於て目下外軍政略ニ於テ  
一切ノ施政ヲ爲シ清國地方友  
職格ヲ退ノル既定ノ方針ニ  
外務省

依り此際又亦カシ清國地方友  
通甚之、復他ヲ許シ我軍政  
廳ニ於テ軍政的ニ必要ニ基テ各般  
ノ知分ヲ爲スルニシテ地方ノ民衆ニ  
軍事的ニ必要ノ許ノ限ニ於テ清國  
地方友ノシラニテ之ヲ容ラシムルニ必要ト  
ス而シテ清國地方友ノ復政ヲ許ス  
付之ニ其行使スルニ權限ヲ定メ

MT.

52231

19

MT.

52231

18

5-0311

0497

我軍印社は煙草館の開設  
 權ヲ生スルノ嫌ナカラシムルニトテ必  
 正東洋及大東洋ノ内地ハ法國  
 ニ於テ夙ニ之ヲ開放スベキ義務  
 アリシモノニシテ外國ニ於テモ一日元ニ  
 其開放ヲ期シテ其ハニ付可  
 連カニ自開放ヲ實行スルニトテ必  
 費ノ開放ノ場合ニ於テハ我煙草館  
 駐在セシメ大抵之管轄ノ例ニ依リ其  
 施設ヲ為スルヲ當ラシムル  
 奉天村ノ目下者我軍ノ占領ニ依  
 り其ノ開放ノ時期ハ法國ニ  
 我占領後進テ之ヲ從後スルニトテ  
 トナシ

和ニ法國内地

内地ニ在テハ法國内地

此等ニ米少め

ハ既ニあり給ル駐在領事館ハ四ノハ為リ給ル我煙草館ノ後ヲ

外務省

MT 52231

21

MT 52231

20

5-0311

0498

官位ノ立職ヲ認メ居リテハ  
 我台位後ニ之ヲシテ其職ニ當テ  
 シノ外ニ於テ軍政能ク置テ自ラ  
 軍事の必要ニ基テ若解ノ強政  
 為テ四時ニ軍事の必要ノ許テ  
 ニあり法國地方友ナシテ地方ノ民  
 政ヲ守テラシムル事也  
 尚右ノ外徑東亞諸國如各地及滿  
 國内地ニ任居ルハ外國宣部即  
 戦争ノ為ニ一時他地ニ避難シ  
 者ニ對テ其志願ニ依リ及之ガ  
 歸來ヲ許スル方針ヲ取ル  
 ラル事也

外務省

MT

52231

23

MT

52231

22

5-0311

0499

5

大正  
在席之海一過  
ひねらん

軍令 第五八二號第一

明治三十七年三月廿九日

陸東守備軍參謀長 神尾元

外務次官 珍田捨己 殿

陸東守備軍參謀長 印

當軍行政規則別冊ノ通り相定候条御参  
考迄、及御送附矣也

逐々第十三条乃至第十五条経管區長ニ關ル規定ハ  
當令之ニシテ御送附シ不申矣也

陸東守備軍司令部

MT. 52231 24

5-0311

0500

遼東守備軍行政規則

遼東守備軍司令部

MT

52231

25

5-0311

0501

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>



6

遼東守備軍行政規則	
第一章 総則	
第一條	遼東守備軍司令部ニ軍政長官及軍政事務官若干名ヲ置ク
第二條	軍政長官ハ遼東守備軍參謀長ノ兼務トシ軍政事務官ハ司令部附高等文官ヲ以テ之ニ充テ又ハ幕僚將ヲシテ兼務セシム
第三條	軍政長官ハ軍司令官ノ意圖ヲ承テ管内一般ノ軍政ヲ統理シ軍政委員ヲ監督ス
第四條	軍政事務官ハ軍政長官ノ命ヲ承テ軍政ニ關スル諸般ノ事務ヲ處理ス
第五條	遼東守備軍管轄地域ヲ左ノ二類ニ分ツ
第一類	露國租借地
第二類	露國租借地以外ノ地域
第二章 第一類地域ノ軍政	
第六條	第一類ノ地域ヲ左ノ政區ニ分テ各區ニ軍政委員ヲ置ク(附屬參照)
一	旅順政區
二	青泥窪政區
三	金州政區
第七條	軍政委員ハ帝國軍隊ノ便益ヲ圖リ地方住民ノ安寧秩序ヲ維持スル為ニ必要ナル行政ヲ執行シ其重大ナルモノハ軍司令官ノ指揮ヲ請フ
第八條	軍政委員ハ其職權ヲ行使スル為ニ軍司令官ノ認可ヲ經テ必要ナル規則ヲ發シ之ニ違反

遼東守備軍司令部

MT.

52231

27

MT.

52231

26

5-0311

0502



第九條	シタル者ニ科スヘキ制裁ヲ付スルコトヲ得 ヲ保護スル為ニ必要ナルトキハ地方從來ノ法 規ニ依リ又ハ帝國法令ヲ參酌シテ住民ノ犯罪 ヲ處斷ス但シ死刑ニ該ル者ハ軍司令官ノ認可 ヲ請フヘシ
第十條	軍政委員ハ管内住民ヨリ民事ノ係争事件 ニ關シ其判断ヲ請願シタルトキハ地方從來ノ 法規慣例ニ依リ又ハ帝國法令ヲ參酌シテ之ヲ 審判スヘシ
第十一條	軍政委員ハ其管内ニアル軍人軍属以外ノ 帝國臣民ヲ取締リ其犯罪者ハ之ヲ陸軍檢察官 ニ移シ又軍人軍属ノ犯罪者ハ之ヲ當該部隊長 ニ移シ
	又ハ陸軍檢察官ニ移スヘシ
第十二條	軍政委員ハ管内ニ在住スル帝國臣民及清 國其他ノ外國臣民ニ對シ租税公課ヲ賦課スル コトヲ得但シ其税目税率及徴收手續ハ軍司令 官別ニ之ヲ定ム
第十三條	全洲政區ヲ更ニ左ノ五管區ニ分テ各區ニ 管區長ヲ置ク (附圖參照)
第一管區	
第二管區	
第三管區	
第四管區	
第五管區	
第十四條	管區長ハ陸軍士官又ハ高等文官ヲ以テ之

遼東守備軍司令部

MT.

52231

29

MT.

52231

28

5-0311

0503

高瀬  
ツア

<p>充テ属員若干名ヲ附ス</p>	<p>第十五條 管區長ハ軍政委員ノ指揮ヲ承テ管区内所 要ノ行政事務ヲ掌ル</p>	<p>管區長ノ駐在地及其權限ハ軍政長官ニ稟議シ 軍政委員之ヲ定ム</p>	<p>第十六條 軍政委員ハ當該地方ノ情況ニ應シ軍政長 官ニ稟議シ金洲政區ニ在テハ其管区内ヲ其他 ノ政區ニ在テハ其管内ヲ若干ノ下級行政區畫 ニ分テ會長及村長ヲシテ自治行政ヲ行ハレム</p>	<p>第十七條 軍政委員及管區長ハ參事員<sup>清國</sup>若干名ヲ置 クコトヲ得</p>	<p>參事員ハ當該管轄地内ニ居住シ學識名望アル 者ニ就キ軍政委員之ヲ任命ス</p>	<p>第十八條 參事員ハ諸般ノ政務ニ關シ軍政委員又ハ 管區長ノ諮問ニ對シ意見ヲ述ブルモノトス</p>	<p>參事員ハ軍政委員又ハ管區長ノ命ヲ承テ事務 ニ從事スルコトアルヘシ</p>	<p>第三章 第二類地域ノ軍政</p>	<p>第十九條 第二類ノ地域ニ在テハ必要ニ應シ清國官 憲ノ所在地又ハ其他ノ要地ニ軍政委員ヲ置ク</p>	<p>第二十條 前條ノ軍政委員ハ當該地方ニ於ケル軍事 上必要ナル各般ノ施政ヲ行ヒ民政ハ軍事上妨 ナキ範圍ニ於テ清國地方官ヲシテ之ヲ掌テシ</p>	<p>ハレシ但シ營口軍政委員ハ第一類ノ地域ニ於 ケル規定ニ準據スヘシ</p>	<p>附則</p>
-------------------	--	--	---	--	---	--	---	---------------------	---	--	--	-----------

遼東守備軍司令部

MT.

52231

31

MT.

52231

30

5-0311

0504

第廿一條 本規則ハ明治三十八年一月一日ヨリ之ヲ

施行ス

第廿二條 第三軍ノ管區ニ屬スル地方ニハ當分本規

則ヲ施行セス

第廿三條 軍政委員ハ本規則第廿二條ノ稅則制定公

布ニ至ル迄ハ軍司令官ノ認可ヲ經テ必要ノ行

政諸費ヲ徴收スルコトヲ得

遼東守備軍司令部

MT.

52231

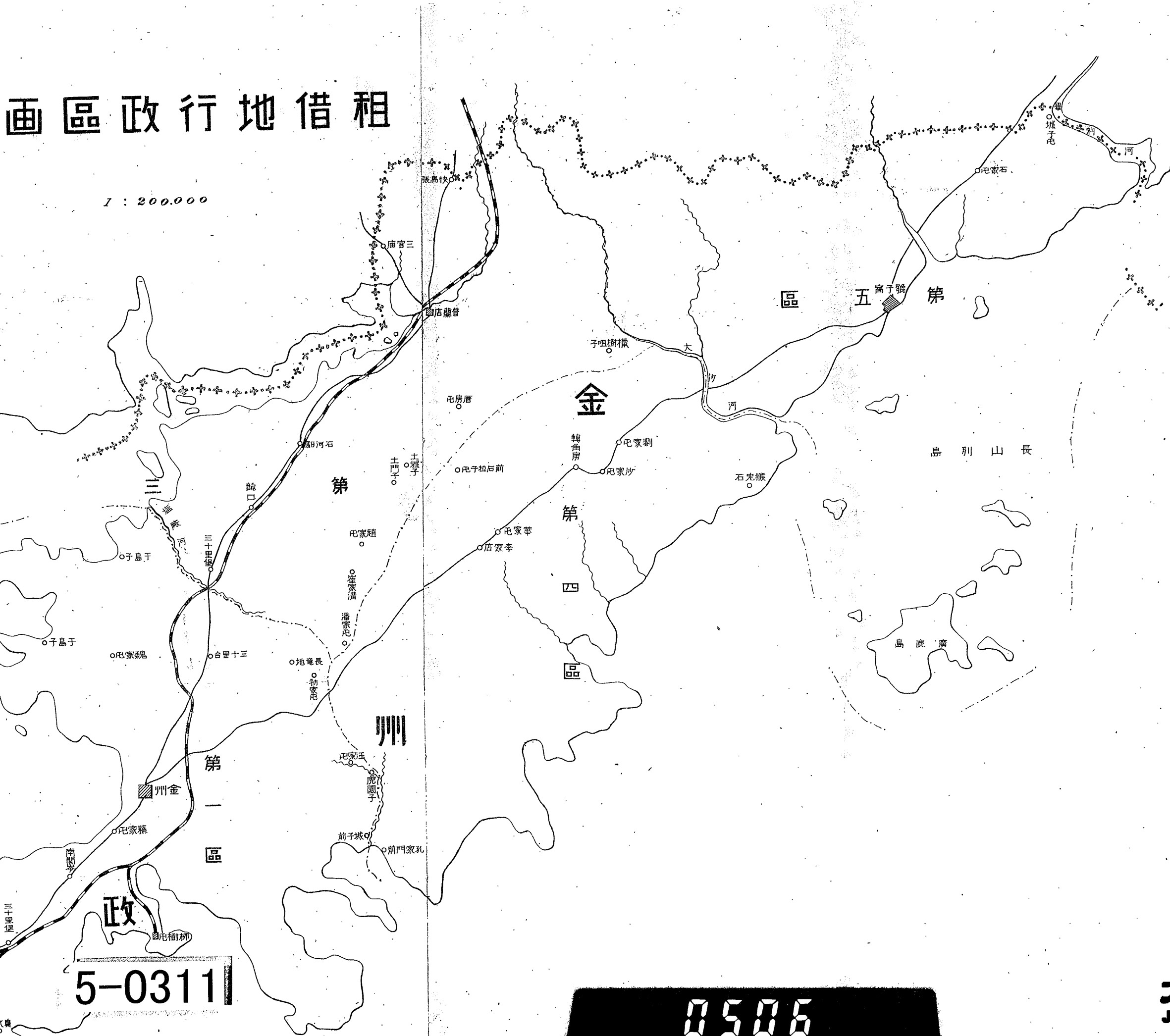
32

5-0311

0505

# 租借地行政區圖

1 : 200,000

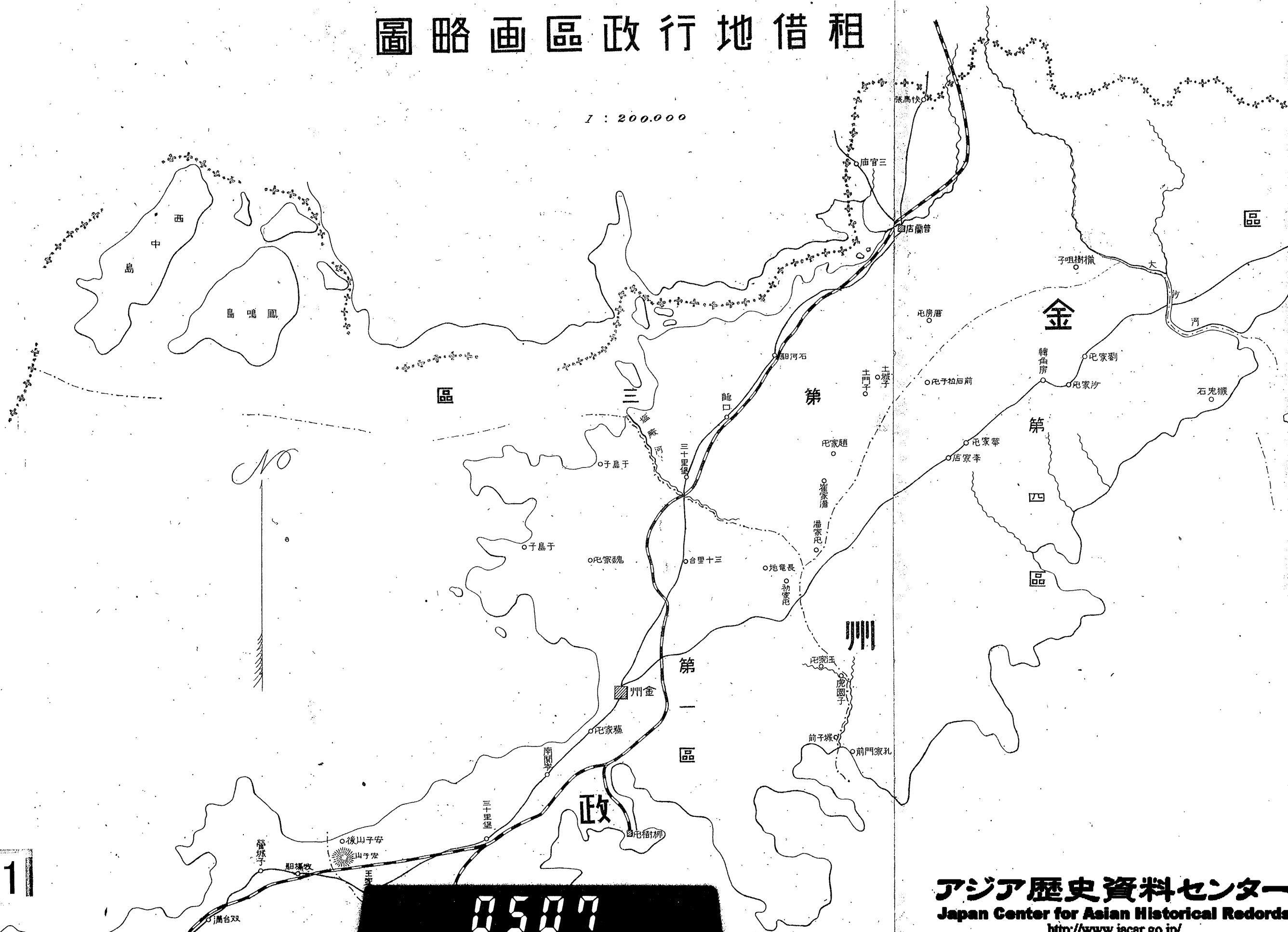


5-0311

0506

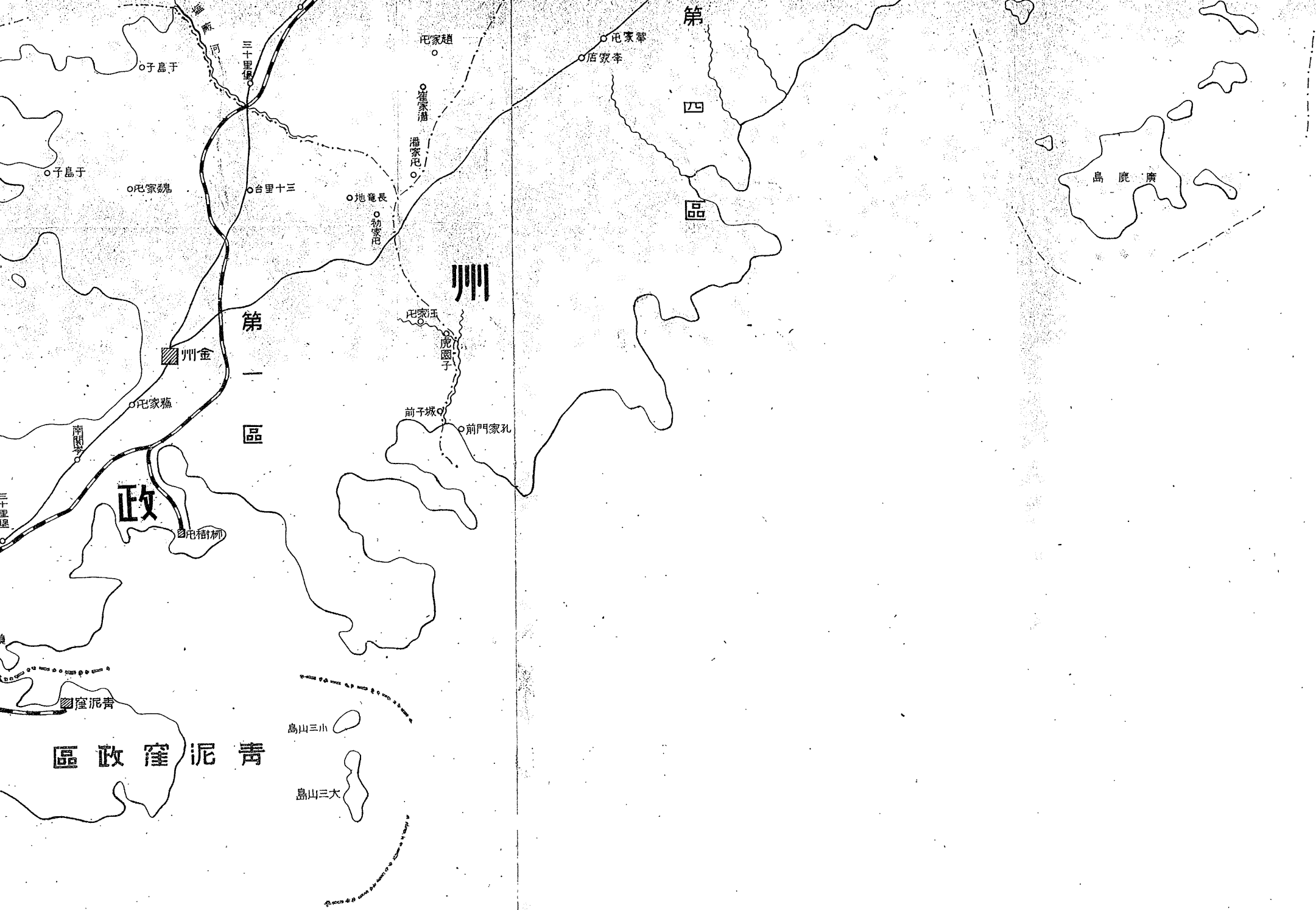
# 租借地行政區圖略

1 : 200,000



5-0311

0507



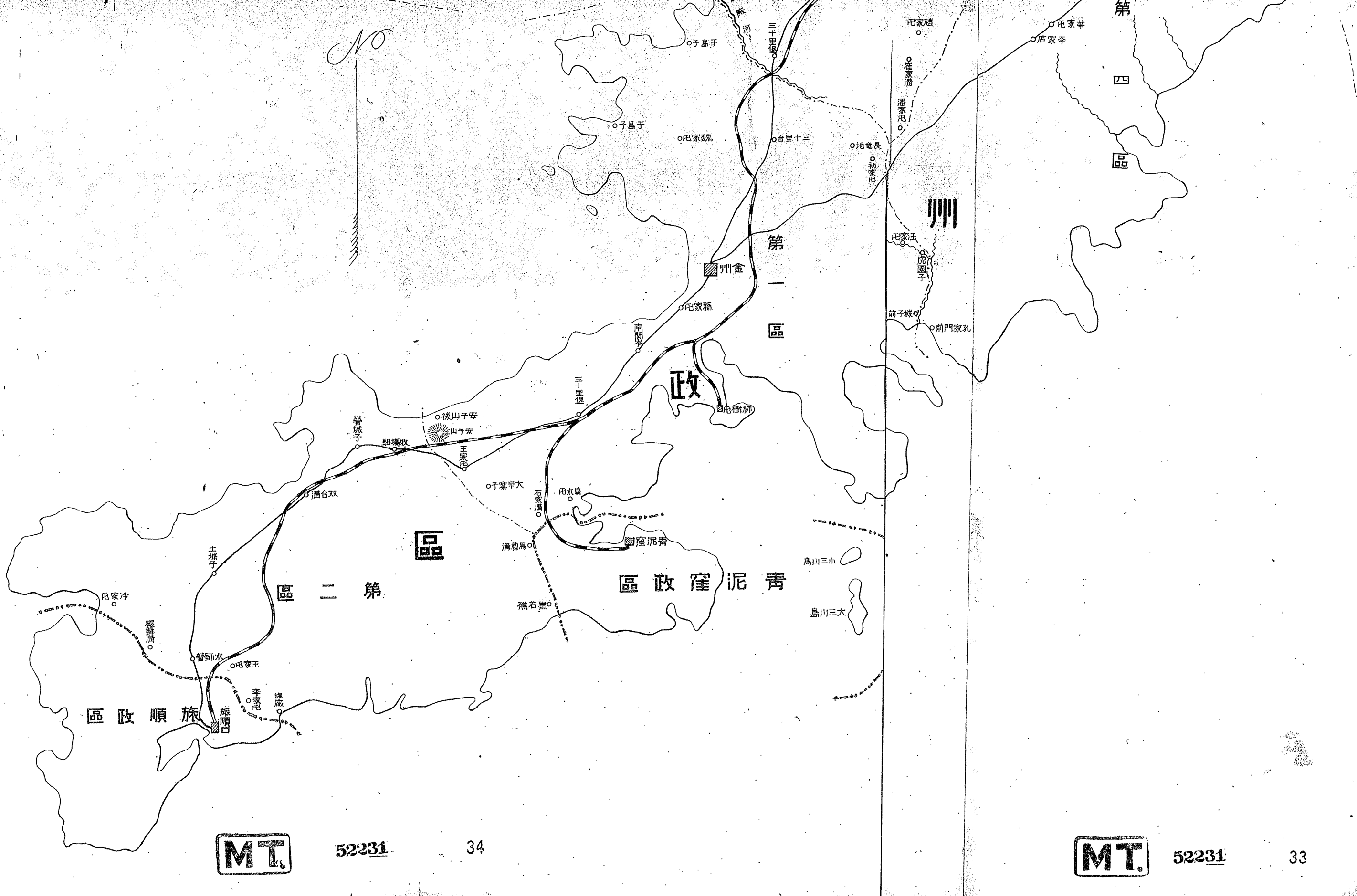
MT.

52231

33

5-0311

0508



5-0311

0509

文書

明治三十八年一月廿四日發遣

明治三十八年一月廿四日發遣

政務局長

八五二一廿四

送第 五

生

主任

在法松井恒時代理

少村正五

東京府軍行政規則

外務省

外務省

東京府軍行政規則

東京府軍行政規則

東京府軍行政規則

東京府軍行政規則

東京府軍行政規則

東京府軍行政規則

東京府軍行政規則

MT

52231

36

MT

52231

35

5-0311

05 10





見込あり殊、旅順、のち、露治時代、  
 年、收支全計五拾五萬圓、上り、管口、  
 日、美、税、の、  
 あり、  
 富、  
 此、  
 支、  
 規、  
 ト、  
 永、  
 多、  
 之、  
 隨、  
 善、  
 一、  
 本、  
 五、  
 所、  
 可、

遼東守備軍司令部

MT

52231

40

MT

52231

39

5-0311

0512

アジア歴史資料センター  
 Japan Center for Asian Historical Records  
<http://www.jacar.go.jp/>

取敢着任は海軍事務ノ概略中

進升也 進升 行政規則ニ對シテ施行細則一部

考案及考案ノ及派送也

明治三十八年四月一日

遼東守備軍司令部

公使後三考案部友小松 縁



外務大臣野村壽太郎殿

遼東守備軍司令部

MT

52231

41

5-0311

0513

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

9

令達第六號

遼東守備軍行政規則施行細則左之通定

明治三十八年二月十一日

遼東守備軍司令官男爵西 寛二郎



第一條 軍政長官ノ執務スル官衙ヲ軍政部軍政委

員ノ執務スル官衙ヲ軍政署管區長ノ執務スル

官衙ヲ管區事務所會長ノ執務スル所ヲ會事務所

所村長ノ執務スル所ヲ村事務所ト稱シ軍政署

以下各其政區管區會若ノ村名ヲ冠ス

第二條 左ニ掲ケル事項ハ軍政部ノ主管事務トス

一 外國人ニ關スル事項

一 租稅公課ノ賦課徵收及行政費支出ニ關スル

事項

一 産業ニ關スル事項

一 司法事務ニ關スル事項

一 其他一般ノ行政ニ關スル事項

第三條 軍政事務官ハ軍政長官ノ命ヲ受ケテ前條

事項ニ關スル審議立案及行政ニ關スル諸報告

審査等ノ事ヲ掌ル

第四條 軍政委員ハ經理事務ニ就テハ軍經理部長

衛生事務ニ就テハ軍軍醫部長ノ區處ヲ受ケル

コトアリ又軍政署附憲兵將校ハ軍事警察事務

ニ關シ軍憲兵長ノ區處ヲ受ケルモノトス

第五條 軍政委員ハ事務上ノ便宜ニ從ヒ署内ニ若

干ノ分課ヲ設ケ屬員ヲシテ其各事務ヲ分掌セ

MT 52231

52231

43

MT 52231

52231

42

MT.

52231

45

レハルコトヲ得

前項ノ分課ヲ設ケタルハ軍政委員ハ其分課  
規程ヲ軍政長官ニ報告スル

第六條 會長及村長ハ當該地方ノ清國住民中ニ就

キ軍政委員之ヲ任命ス但<sup>旅順政區</sup>全洲政區ニアソテ

ハ管區長軍政委員ノ認可ヲ經テ之ヲ任命ス

第七條 會長及村長ノ給料ハ軍政委員ノ具申ニ依

リ軍政長官之ヲ定ム

第八條 會長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 監督官憲ノ命令ヲ遵奉施行スルコト

一 管内ノ公共營造物ノ管理整頓スルコト

一 管内ノ安寧ヲ維持スルコト

一 管内ノ諸證書及公文書類ヲ保管スルコト

一 管内人民間ノ紛議ヲ仲裁シ及和解ヲ爲サシ

ムルコト

一 監督官憲ノ命ヲ受ケ管内人民ヨリ上納スル

キ租税公課ヲ徴收シ之ヲ當該官憲ニ進達ス

ルコト

一 常ニ管内ノ戸口及物資ヲ調査シ時々之ヲ監

督官憲ニ報告スルコト

一 以上ノ外管内ニ起ル事件ハ常ニ之ヲ監督官

憲ニ報告スルコト

第九條 會長ハ前條ノ事務ヲ施行スルニ就テ其管

内ノ各村長ヲ指揮シ之ヲシテ各村内ニ於ケル

當該事務ヲ直接擔任セシムルヲ得

第十條 會長及村長ニシテ職務上ノ過失怠慢其他

MT.

52231

44

MT

52231

47

第十三條 軍政委員ハ取條ノ豫算ニ基キテ收入及支出スル毎月ノ計算書ヲ作リ一切ノ証憑書類ヲ添、翌月末日迄、之ヲ軍政長官ニ提出シテ其承認ヲ受クヘシ

第十四條 軍政委員ハ毎年十月三十一日及四月三十日迄、其前月末日迄、係ル各六ヶ月間ノ收入支出ニ對スル決算書ヲ作リ之ヲ軍政長官ニ提出シテ其承認ヲ受クヘシ

第十五條 軍政長官ハ前條及第十三條ニ規定スル計算書及決算書ニ對シ承認ヲ與フル片ハ同時ニ之ヲ軍司令官ニ報告スヘシ

第十六條 軍政委員ハ必要ト認ムルトキハ其管内ニ

MT

52231

46

不都合ノ行為アル片ハ管區長若クハ軍政委員之ヲ懲戒スヘシ但シ情状重キモノハ軍政長官ノ指揮ヲ受クヘシ

第十一條 參事員ハ無給トス但シ參事員ニシテ行政規則第十八條第二項ニ該當スル片ハ臨時手當ヲ支給スルコトヲ得

取項ノ手當額ハ軍政委員軍政長官ニ稟議シテ之ヲ定ム

第十二條 軍政委員ハ毎年四月ヨリ九月及十月ヨリ翌年三月ニ至ル各六ヶ月間ニ於ケル租税公課ノ收入豫算及管内行政費ノ支出豫算ヲ案シ各ニケ月前ニ之ヲ軍政長官ニ差出シテ其認可ヲ受ケ當該豫算施行ノ任ニ當ルヘシ

MT.

52231

48

於テ從來清國人ノ組織セル公議會君ノ其他  
 公共團體ヲ將來ニ存續セルムルヲ得  
 第十七條 取條ノ公議會君ノ其他ノ公共團體ハ其  
 會君ノ團體ノ維持費トシテ從來慣例ニ準  
 ン軍政委員ノ認可ヲ經テ會員ヨリ換金ヲ徴收  
 スルヲ得

公議會君ノ公共團體ニ於テ規約ヲ制定君ノ  
 改正スル片ハ軍政委員ノ認可ヲ受クハシ  
 第十八條 軍政委員ハ前條ニ掲タル認可ヲ與フル片  
 ハ之ヲ軍司令官ニ報告スハシ  
 第十九條 本則第六條乃至十八條ハ露國租借地以外  
 ノ地域(營口ヲ除ク)ニ在ル軍政委員ニハ之  
 ヲ適用セス

第二十條 本則ハ明治三十八年三月一日ヨリ實施ス

MT.

52231

49







取 會 人 通 政  
調 計 事 商 務

次 官  
大 臣

No. 2 3 4 9

27 wds.

Dairen, May 16 1905 12-35 p.m.

Recd., " " " 4-50 "

Komura, Gaimudaijin,  
Tokyo.

Shireikan leaves here for home to-day and the  
Chief and staff including us of the military admini-  
stration of Department will return also as soon as  
all the affairs shall have been transferred to the  
incoming civil authorities.

Komatsu.

MT.

52231

52

5-0311

0519

秘

軍政報第七號

遼東守備軍司令官轉職並ニ

軍政部廢止ノ件

西遼東守備軍司令官ハ去九日教育總監ニ轉任  
 シ見玉滿州軍總參謀長當司令官臨時事務取  
 扱ヲ命セラレタル旨發表アリ之ヨリ先々去七日當遼  
 東守備軍ハ進テ復員ヲ令セラルハ若ニテ其軍務  
 及行政ハ各新ニ設置セラルハキ兵站監部及兵領  
 地民政署ニ移カレ、越電信有之候尤モ之ヨリ以  
 前ハ絶テ何等ノ商標ナカリシヲ以テ神尾軍政長官  
 並ニ部員一同モ施政上承表ノ計畫ヲ講ニ各軍政  
 署ハ配置スハキ人員ノ増加ヲ計リ並ニ兵站ノ規程ヲ  
 定メ漸ク將リ實行ノ緒ニ就カムトシテ俄然進取ノ

遼東守備軍司令部

變動ニ會ヒタル次第ニ有之候一昨十五日民政署ノ  
 編成之間モテ了可致振ニテ事務引継ノ上ハ  
 當軍ノ軍政部廢止可相成旨条謀本部ヨリ  
 電信相達ニ西司令官ハ翌日ヲ以テ各地ニ在居  
 朝ノ途ニ上リ之候右ノ振ハ不取致電信ニテ及報告  
 並候湯兵猶ホ事情申進候也

明治三十八年五月十七日

遼東守備軍司令部

公使館二等書記官小松 緑



外務大臣男爵小村壽太郎殿

24

53

52231

MT

54

52231

MT

12

馬

館事領本日莊牛在

領事 湘川淺之達殿

小官は此度管口兵站司令官に任ぜられ  
小林大尉及濱村中尉は兵部司令部  
副官に任ぜられ在牛家屯管口兵站司令  
官部を併せ指揮する事と相成候然し此  
軍政に關しては凡そ從來ノ通り執務致  
すノ候在由通報候也

明治三十八年六月廿五日

管口兵站司令官

其倉名吉吉平

MT.

52231

55

5-0311

0521

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

明治三十八年六月八日

陸軍省

倉田

25

公第一〇五號

九六一一

各地ニ從來ノ陸軍政署ヲ置キ其  
 倉陸軍中佐軍政委員トシテ其  
 署長ナリシニ今般口中佐ハ管以兵  
 站司令官ニ任セラルル由ニテ本月  
 十五日別紙ノ通リ通知有之ル左  
 今般倉陸軍中佐軍政委員トシテ東  
 兵站監督ヲ設置セラルル結果ニシ  
 テ從來ノ管備軍直轄ノ下ニアリ  
 陸軍政署ハ其ノ廢止セラルル由ニ  
 在リ且報信故具

明治三十八年六月廿七日

在牛莊 領事 瀨川淺之佳

在牛莊日本領事館

外務大臣男爵小村嘉平太郎殿

MT

52231

57

MT

52231

56